

子どものスキンケア

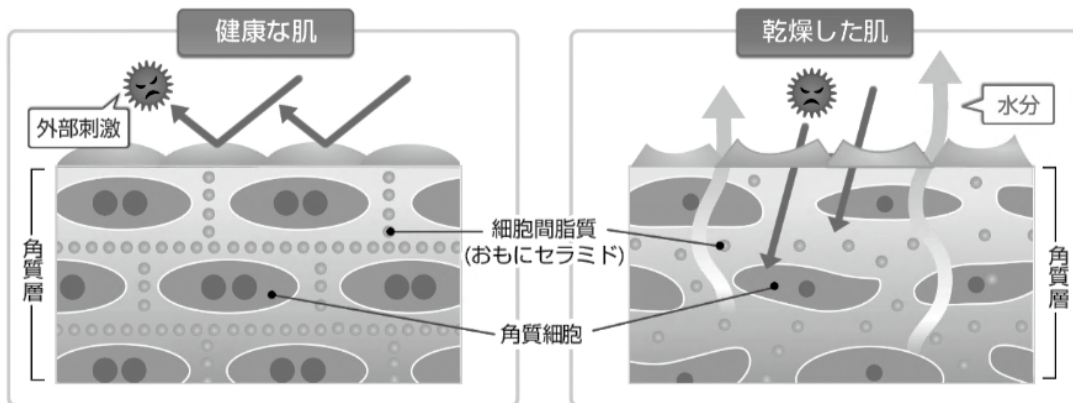
一見みずみずしい子どもの肌ですが、実は大人よりもデリケートで乾燥しがち。

花粉や紫外線による刺激・あせもなど、季節を問わず肌トラブルを招く外部からの刺激と隣り合わせなのです。

スキンケアはなぜ必要なの？

アトピー性皮膚炎・食物アレルギーなどのアレルギーを予防します。

皮膚の表面にある皮脂は、水分の蒸発や外部からの刺激の侵入を防ぐバリア機能の役割があります。肌に乾燥や湿疹などがあるとバリア機能が低下します。そこへダニやほこり、食物の粒子などが皮膚から侵入すると免疫が過剰に反応し、アレルギーを招きやすくなるのです。



スキンケアの原則

全身を泡で洗って、しっかり保湿

「拭く」と「保湿」はセットで

基本は汚れを肌につけたままにしないこと。荒れやすい口まわりは、授乳後や食後にぬれたタオルでやさしく拭き保湿剤を塗ります。おむつもぬれたまま放置せず、こまめに交換しましょう。

おむつかぶれには

おしりふきで拭き取ると刺激になるので、うんちのときは洗面所やお風呂に行き、温かいお湯でおしりを流してあげましょう。洗ったあとはしっかり保湿し、すぐにはおむつをせずに、少しの間おしりを開放しておくとお子さん気持ちよいと思います。おしっこ飛び出し注意！



こんなときは治療を

服やふとんに顔をこすりつけるなどしてかゆがる、おむつかぶれが治らず赤く腫れることはありませんか？そのようなときは早めに医師に相談をしましょう。

ステロイドが処方されている場合は、湿疹部位に薬をのせるように厚めに塗るのがポイントです。自己判断で中断したり、塗る量を減らすことで症状が長引くこともあります。